

2024年度 各支部等 活動方針（案）

長崎浦上支部

支部長 橋本 裕次郎

活動方針

「不離一体」

- ・ 同友会で積極的に活動し、学んで実践して、自社も自分自身も成長する。

「THE 長崎浦上支部」

- ・ 会員の要望、相談に応えられる支部を目指す。
- ・ 仲間づくりの増と強の両立。
- ・ 温故知新。新入会員、中堅会員、ベテラン会員の知識と経験の共有。
- ・ 若手、次世代、未来へつなぐ。

具体的な活動

- ・ 例会、各委員会活動、同友会開催行事への参加促進。
- ・ 委員会活動の定例化、次期役員の育成。
- ・ 経営理念、経営指針書作成の推進。
- ・ 同友会での学びを実践して成長を体感した会員の報告。
- ・ 例会等に出席しやすい環境づくり。悩みを話せる雰囲気づくり。
- ・ 支部内でのスピーディーな告知連絡方法の構築。
- ・ 支部内での定期的なアンケート実施。
- ・ 長崎浦上支部独自の連絡網の作成、運営。
- ・ 支部運営のガイドライン作成。
- ・ 若手の創業支援、アドバイス。

活動計画

「三役会」 月1回開催 ※支部長判断 責任者：支部長

出席者：支部長、副支部長、総務委員長

内容：理事会の決議、支部役員会での報告、依頼事項、協議事項を精査。

「役員会」 月1回開催 責任者：支部長、総務委員長

出席者：役員(会員のオブザーバー出席も可)

内容：三役会で精査した内容を報告、例会の決議事項の報告、仲間づくりや支部の方向性を協議。役員の情報意見交換会の場としても活用。

「例会」 月1回 責任者：担当委員会、支部長、例会委員会

原則、通常例会は各委員会が担当となり企画運営。

支部総会、慶祝例会、忘年例会は三役、例会委員会が担当。

4月 支部総会：三役、例会

5月 通常例会：経営労働

- 6月 慶祝例会：三役、例会
- 7月 通常例会：政策(中小企業魅力発信月間)
- 8月 通常例会：共同求人
- 9月 通常例会：ビジョン
- 10月 通常例会：情報広報
- 11月 経営フォーラム
- 12月 忘年例会：三役、例会
- 1月 通常例会：共育
- 2月 通常例会：仲間づくり(県下一斉仲間づくりの日)
- 3月 通常例会：ダイバーシティ

「委員会・協議会」 各委員長、担当者、副支部長が企画、開催。

役員及び委員会構成

(敬称略)

支 部 長：橋本 裕次郎

副支部長・経営フォーラム参加促進担当：飛田 精一・山口 善也・山崎 晃・和田 栄代美

相 談 役：小川 悟・西村 浩文・吉澤 健

監 査 役：小川 悟

人を生かす経営4委員会：委員長 - 西村 浩文・副委員長 - 梶原 由美・(経営労働) 中山 紀子・
(共育) 岩 素子・(ダイバーシティ) 北川 亮・(共同求人) 西山 展司

人をつなぐ2委員会：委員長 - 山口 大輔・(例会) 甲斐 亮・(仲間づくり) 和田 栄代美

女性担当：大城 あゆみ・中山 紀子

※委員については、配属委員会の変更は委員長と役員会の承認を得れば可能。

※役員承認を得れば、年度中に誰でも副委員長等、役員になることが可能 (自薦他薦問わず)。

委員会名・主な活動内容	氏 名			
総務委員会 収支・財務管理 支部活動のとりまとめ	委員長 - 吉川 裕也	副委員長 - 山口 善也		
	委員 - 秋月 徹雄	委員 - 池田 義徳	委員 - 大久保 誠	委員 - 鹿島 啓介
	委員 - 永池 泰典	委員 - 西浦 友也	委員 - 西村 繁彦	委員 - 林 昭彦
	委員 - 山口 哲也	委員 - 吉田 國廣		
例会委員会 例会のさらなる充実化 全国大会の参加促進	委員長 - 甲斐 亮	副委員長 - 座木 直	副委員長 - 飛田 精一	
	委員 - 一ノ瀬 卓	委員 - 柴木 博文	委員 - 川野 知己	委員 - 小林 宏平
	委員 - 竹松 健治	委員 - 松本 祐太郎	委員 - 森川 大輔	委員 - 和田 真太郎
仲間づくり委員会 仲間づくりと入会後のフォロー	委員長 - 和田 栄代美	副委員長 - 真崎 今日子	副委員長 - 松村 拓哉	
	委員 - 植松 重則	委員 - 岡 猛	委員 - 鐘ヶ江 あおい	委員 - 川野 律子
	委員 - 久保 弘一	委員 - 近藤 千里	委員 - 佐藤 研二	委員 - 佐藤 雅子
	委員 - 辻原 隆	委員 - 辻村 栄蔵	委員 - 濱崎 一成	委員 - 松田 英裕
	委員 - 光納 瞳			
経営労働委員会 労使見解・経営指針づくり活動・ 企業変革支援 PG Ver.2 の推進	委員長 - 中山 紀子	副委員長 - 内田 小太郎	副委員長 - 西岡 潤二	
	委員 - 栗崎 真子	委員 - 須藤 日登美	委員 - 高田 綾	委員 - 西村 和芳
	委員 - 野口 千恵子	委員 - 福富 忠信	委員 - 古立 賢司	委員 - 前田 富彌
共育委員会 人間尊重の理念に立った 創造的な社員教育の定着のための活動	委員長 - 岩 素子	副委員長 - 齊藤 誠史	副委員長 - 福嶋 健吾	
	委員 - 青山 真一郎	委員 - 池田 繁隆	委員 - 池本 淳一	委員 - 颯川 正浩
	委員 - 飛田 政光	委員 - 松野 和治	委員 - 松本 一孝	委員 - 山口 芳和
	委員 - 山本 修平			
ダイバーシティ委員会 高齢者・女性・障がい者・外国人等 多様な人材を生かす企業づくりの研究・推進	委員長 - 北川 亮	副委員長 - 梶原 由美	副委員長 - 満寄 美咲	
	委員 - 天田 佳代子	委員 - 伊東 祐二郎	委員 - 岩崎 裕一郎	委員 - 上村 靖
	委員 - 大峰 史子	委員 - 野口 博子	委員 - 古里 久則	委員 - 町田 貴代人
	委員 - 横山 慎介			
共同求人委員会 新卒採用を中心とした共同求人活動	委員長 - 西山 展司	副委員長 - 大坪 孝聡	副委員長 - 片岡 雅英	
	委員 - 岡村 雅彦	委員 - 要 正光	委員 - 中村 貢一	委員 - 中村 大介
	委員 - 星永 瑞輝	委員 - 堀 大祐	委員 - 松尾 友平	委員 - 矢口 真
政策委員会 中小企業振興基本条例の研究・推進と 経営環境改善のための政策活動	委員長 - 笹垣 和也	副委員長 - 小澤 大助	副委員長 - 浜本 義文	
	委員 - 大石 優	委員 - 大崎 悠史	委員 - 川内 順之助	委員 - 川口 義己
	委員 - 小林 長利	委員 - 富永 英則	委員 - 三宅 雅章	委員 - 吉田 清規
情報広報委員会 情報発信・広報活動 e.doyu の活用推進等	委員長 - 橋本 剛			
	委員 - 植木 博路	委員 - 平野 圭司	委員 - 狩野 良太	委員 - 笹田 健一
	委員 - 島崎 和紀	委員 - 中尾 陽一郎	委員 - 西本 俊昭	委員 - 濱口 直樹
	委員 - 溝越 正			
ビジョン委員会 第6次ビジョンの推進	委員長 - 小川 久郎	副委員長 - 山崎 晃		
	委員 - 出口 隆三	委員 - 伊藤 浩義	委員 - 川口 圭典	委員 - 中川 哲哉
	委員 - 中村 政次	委員 - 浜口 宏	委員 - 福田 行彦	委員 - 松尾 猛敏
	委員 - 松尾 照美	委員 - 松本 実文		

長崎浦上支部 委員会

総務委員会

委員長 吉川 裕也

活動方針

- ・ 役員会、各委員会活動のスムーズな運営のサポート
- ・ 三役で連携して支部活動の活性化促進
- ・ 例会運営のサポート
- ・ 予算作成、適正な会計処理
- ・ 各委員会の予算使用の促進

具体的な活動

- ・ 支部総会の運営
- ・ 三役会の運営
- ・ 役員会の運営(資料準備、進行等)
- ・ 例会、委員会活動の会計処理、収支報告

活動計画

- ・ 支部総会(4月)
- ・ 役員会

例会委員会

委員長 甲斐 亮

活動方針

同友会の三つの目的を例会のなかで各会員が意識し、各例会の報告から「気づき」「発見」「自己考察との融合」など様々な観点から学べる例会を目指します。

また、会員相互のコミュニケーションを活発に行える環境を例会運営を通して提供できるように創意工夫します。

具体的な活動

- ・ 例会への返信率が、同友会への関心のバロメーターと意識し、返信率の向上に取り組む
- ・ 例会への出席率が、同友会の学びの核であると意識し、出席率の向上に取り組む
- ・ 会員の職種や状況によって、学びの場を減らさないため、Webなどを活用し情報を共有する
- ・ アンケートなどを行い、次に繋げる例会を心がける
- ・ ゲストや新入会員がのびのびと出席できるよう、仲間づくり委員会と連携し取り組む
- ・ 担当委員会によるスムーズな例会運営をサポートする
- ・ 担当委員会自身が例会運営を経験することにより、新たな学びとなる場を醸成する

活動計画

- ・ 返信率を向上させるため、会員への様々なアプローチをトライしていく
- ・ 出席率を向上させるため、迅速な情報公開や出席率を促すような施策を行う
- ・ 例会運営をスムーズに行うため、効率化できる部分を見つけ、可能な限り効率化する
- ・ 例会毎に「問題点」「対応策」「成功・失敗の共有・伝達」を意識し振り返る

仲間づくり委員会

委員長 和田 栄代美

活動方針

- ・「入会候補者、新入会員に理解を深め、同友会として何ができるか？」を共に考える
- ・役員だけでなく会員の意見を広く聞き親睦を深め退会者の減少に努める
- ・女性会員比率15%を目指す
- ・明るく元気な委員会にする

具体的な活動

- ・県下一斉仲間づくり強化月間・日において、魅力ある企画と早めの推進(ミニ例会)
- ・退会者へのアプローチ、新入会員への継続フォロー
- ・入会候補者のリスト化による進捗状況の支部内共有

活動計画

- ・県委員会参加
- ・県下一斉仲間づくり強化月間・日開催(7月、11月、2月)
- ・新入会員へのフォローを行う担当と頻度を決め支部役員会内で共有
- ・新入会員や例会出席率の低い会員への例会出席の声掛け(毎回)

経営労働委員会

委員長 中山 紀子

活動方針

- ・経営指針の成文化と実践を行うと共に、それに深く関わる労使見解の学び
- ・経営者の責任についての学び
- ・人を生かす経営4委員会での協力

具体的な活動

- ・経営指針実践セミナー受講の推進
- ・企業変革プログラム Ver.2の個別の勉強会

活動計画

- ・役員会や例会時に、経営指針に関するPRを行う
- ・経営指針に関する勉強会を実施する
- ・人を生かす経営4委員会と連携し、経営者塾を開催する

共育委員会

委員長 岩 素子

活動方針

1. 新入社員および若手社員のスキル向上と成長促進
新入社員および若手社員共育の例会を開催、フィードバックセッションにより新入社員および若手社員のスキル向上と成長を促進します。

2. 社員共育の定着と交流促進

年に2回程度の勉強会を推進し、社員共育を定着させつつ、他社との社員同士の交流も促進します。

3. 地域連携と次世代人材育成

地域の学校や大学と連携し、同友会の例会に出席してもらい将来的な産業人材の育成に積極的に貢献します。

具体的な活動

1. 新入社員および若手社員のスキル向上と成長促進

新入社員および若手社員共育の例会を年間1回開催して、実践的なスキル向上ができるように会員と相談しながら進めます。また、新入社員および若手社員同士の交流を促進するために、フィードバックセッションを通じて双方向のコミュニケーションを図り、成長への理解を深めます。

2. 社員共育の定着と交流促進

年に2回程度の勉強会を通じて、社員共育の機会を設けます。これにより、社内の知識やスキルを定期的にアップデートするとともに、他社との交流の場を提供します。これらの勉強会では、専門家や業界リーダーを講師に招き開催します。

3. 地域連携と次世代人材育成

地域の学校や大学と緊密な連携を築いていきます。同友会の例会に積極的に出席していただき、地域の次世代人材育成に貢献します。学生との交流イベントやキャリア相談セッションを通じて、将来的な産業人材に必要なスキルや知識の獲得をサポートします。これにより、地域社会との協力関係を強化し、持続可能な人材開発を推進します。

活動計画

他支部の協力を得て年に1回の例会を開催いたします。具体的なスケジュールは、1月を予定しています。より効果的かつ効率的なプログラムの実施を目指し、会員企業の社員が参加しやすい機会を提供します。

また他支部との連携を強化することで、異なる視点やノウハウを共有し、より充実した活動が展開できることを期待しています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ダイバーシティ委員会

委員長 北川 亮

活動方針

- ・ 支部の担当例会(2025年3月予定)の企画・運営。
- ・ 昨年度に引き続き県の活動方針に則って特別支援学校との交流を進めていく。
- ・ 児童養護施設との交流・連携を青年経営者会と連携して行っていく。

具体的な活動

1. 特別支援学校との交流

- ・ 特別支援学校の実習受け入れを支部内でも呼びかけていく。
- ・ 上記受け入れ企業があった場合、見学会等も行う。

2. 児童養護施設との交流・連携

- ・ 青年経営者会が長年行っている交流イベントである、ハタ揚げ大会に支部委員会として運営に参加・協力する。
- ・ 上記以外の交流イベント(夏祭り等)にも積極的に参加する。
- ・ 支部委員会としても交流イベントを企画して実施する。

活動計画

1. 特別支援学校との交流

- ・ 6月と11月のいずれかの実習に支部から1社以上の受け入れを目指す。

2. 児童養護施設との交流・連携

- ・ 3月のハタ揚げ大会に支部から5名以上の参加を目指す。
- ・ 支部委員会として交流イベントを企画して実施するー 2025年1月頃

共同求人委員会

委員長 西山 展司

活動方針

- ・ 人を生かす経営4委員会の活動を続けていく
- ・ 選ばれる企業、魅力ある企業づくりを推進していく
- ・ 学校、教育機関との連携を強固にする
- ・ 学生の職場体験企画に参画する企業を拡大する

具体的な活動

- ・ 人を生かす経営4委員会で選ばれる企業、魅力ある企業について話し合っていく
- ・ 共同求人に参画できる資格制度を他県同友会を参考にしてつくり出す
- ・ 学生の職場体験企画経験企業よりその魅力や醍醐味など例会を通し報告してもらう

活動計画

- ・ 新入会員を中心に委員会の活動内容を細かく説明して参画していただくようにしていく
- ・ 共同求人への参加資格について分かりやすく具体化していく

政策委員会

委員長 笹垣 和也

活動方針

我々、中小企業を取り巻く環境は、長期的な国際情勢の緊迫化による、原油、原材料価格の継続的高騰をはじめ、国内外の物流コストの上昇等、外部環境の悪化が続き、多くの企業が苦戦を強いられています。

このようななか、同友会の役割は、益々大切になっていくと思います。そのために、長崎県、長崎市との連携を深め、行政及び同友会が先導して経済政策を立案できるように努めなければなりません。中小企業が地域の主役になることを目指します。

具体的な活動

- ・「中小企業憲章」及び「中小企業振興基本条例」に対する会員の理解促進
- ・「中小企業振興基本条例」の制定に向けての活動を行う
- ・景況調査の報告、検討の機会をつくる
- ・長崎出島支部政策委員会との連携

活動計画

- ・県委員会への参加及び活動に協力する
- ・長崎出島支部との7月合同例会の開催
- ・景況調査の実施協力
- ・長崎市、長崎商工会議所との意見交換会を実施
- ・長崎県との意見交換会(11月)への参加及び協力

情報広報委員会

委員長 橋本 剛

活動方針

昨年度の目標に準じて、引き続きWeb配信による効率化をはかり、仲間づくりに貢献できるようなコンテンツを作成し、全体の流れがスムーズに行くような情報発信をしていきたい。

県全体が参加できるコミュニティを作成し、内部からそれを活性化して行き、広く全体の意見が反映するような情報収集につとめ、価値のある情報配信をしていきたい。

具体的な活動

- ・会外の若い世代が見てわかるコンテンツを展開し、広報誌紙面やネットの斬新さを県と共に提案していく
- ・会員企業への積極的な訪問やインタビューを実施する
- ・全体が知りたい情報を収集し、必要とされる情報を発信する
- ・動画などを駆使した情報配信を活発に行って行く

活動計画

- ・月間に日程を決めて前倒しのインタビュー予約を実施する(全員)
- ・小さなことから記事にしていき、全体的な情報量を増やしていく(全員)
- ・週初めに計画をたてて、全体を把握しながら連携をとる(委員長)
- ・上記の内容を月末ごとに総括していく(委員長)

ビジョン委員会

委員長 小川 久郎

活動方針

1. 第6次ビジョンの周知、検証活動
2. 「経営相談室」の周知、検証活動
3. 青年経営者会のクレジット作成づくりサポート

具体的な活動

1. 今年度も引き続きビジョン委員会が担当する県の各委員会に出席し、活動や議論を通して後半に行われる検証活動で深められるよう努めます
2. 経営相談室の現状把握と改善点を検証し、多くの会員に利用してもらいます
3. 昨年度から青年経営者会で進められていたクレド作成のサポートに入り、共に知恵を絞りながらクレド作成の実現を目指します

活動計画

- ・ 県の委員会に積極的に参加します。内容を支部委員会内で共有し、必要に応じて役員会、例会等において報告します
- ・ 他委員会と連携し、ビジョンの進捗状況確認、推進活動を行います